

神奈川県教育委員会教育長 殿

## 学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	横浜氷取沢高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制の課程・普通科
-----	-----------	------------------	------------

## 1 学校のミッション

全日制の課程学年制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現を可能にするため、生徒の学力を育成するとともに、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざし、カリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組む。

多様な他者に対する理解を深め、協働して課題解決ができるグローバル人材を育成するため、体験活動を活用した実践的な国際教育を推進する。また、地域の教育力を活用した教育活動の推進を図り、学ぶことと社会とのつながりを実感できる学校づくりに取り組む。

生徒の安全、安心の確保に努めるとともに、学校運営協議会制度により地域等との協働を図り、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりに取り組む。

教職員の計画的な人材育成と、個々の資質・能力がいかされる人材配置を行い、学校教育力の一層の向上に取り組む。

県立高校改革実施計画における再編・統合校として、県教育委員会との協力・連携を密に、将来を見据えた適切な学校経営を進める。

## 2 学校教育目標

- (1) グローバル社会を生きるうえでの資質を身に付け、国際的な視野を持ち、主体的に考え探究する人間性を育成する。
- (2) 国際的な視野に根ざした言動を心がけ、多様な価値観を尊重し、他者とともに歩んでいく心を育成する。
- (3) 自ら目標を立て、自らの課題に挑戦し、自己を伸ばし続ける姿勢を育成する。

## 3 計画作成時点での課題

- 電子黒板の一層の活用を図り、わかりやすい授業実践を進める。BYOD、G suite等のICT機器の効果的な活用に資するよう学習活動用回線を利用した授業の定着をめざす。
- 授業の取組みの成果について、生徒による授業評価や公開研究授業等の機会により検証し、授業改善に取り組んでいく。
- 姉妹校交流事業、スピーチコンテスト等の取組みが、生徒の国際社会への参画意識につながるよう改善、工夫に努める。
- 「総合的な探究の時間」を社会問題のさまざまな課題に対して主体的に考える機会とし、生徒の思考力・判断力・表現力を伸張させる。
- 生徒一人ひとりの進路実現を目指して、3年間を見通した計画的・体系的なガイダンスを計画する。
- 生徒主体の学校行事や部活動を通して、協働する姿勢を育成する。
- 生徒情報の共有や生徒理解が深まるよう、ケース会議や研修会を開催する。
- 地域との連携を組織的に行い、校種間交流等、幅広く取り組む。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力の育成を目標とした授業実践を行う。</li> <li>・生徒の国際的視野を一層広げ、グローバル人材を育成するため体験活動を活用した実践的な国際教育を充実させる。</li> <li>・生徒主体の学校行事や生徒会活動を通して、豊かで幅広い人間力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の基盤となる資質・能力の育成に資するため、ICT機器を積極的に取り入れ学習活動用回線を適切に活用した学習活動を充実させる。</li> <li>・外国語教育の充実や姉妹校交流等、積極的に国際社会へ参画する力を育成する。</li> <li>・生徒主体の学校行事となるよう支援する。</li> <li>・活動の成果をホームページ等で広報し、保護者・地域の理解につなげ、生徒の自己肯定感を涵養する。</li> </ul>
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりに寄り添い、生徒理解にたった支援、相談体制を充実させる。</li> <li>・部活動の活性化を通して連帯感や責任感の涵養を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な教育相談体制の充実を図り、SCやSSW等の専門機関との密な連携を図る。</li> <li>・活動の成果をホームページ等で広報し、保護者・地域の理解につなげ、生徒の自己肯定感を涵養する。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会との関わりや自己の在り方について、主体的に考える態度の涵養を図り、自己実現につながる進路選択となるような手立てを講ずる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な進路意識をもてるよう3年間の計画的・体系的なガイダンス体制を充実させる。</li> <li>・生徒の適性や希望に沿った進路実現となるよう進路選択を考える機会を充実させる。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭、地域の教育力を活用し地域との交流活動を通し、生徒、保護者、地域に信頼される開かれた学校づくりをめざす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の機能を活用した地域連携活動を行う。</li> <li>・ホームページ等の広報媒体を充実させる。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な学習環境の維持に努め、点検・改善に努める。</li> <li>・信頼・信用ある学校経営に努め、事故不祥事根絶に向け、強い決意をもって臨む。</li> <li>・教員のワークライフバランスを推進し、教員としての充実感を持ち責任を果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の防災意識を高める教育機会を充実させる。</li> <li>・資源の有効活用等、環境意識を高める取り組みを行う。</li> <li>・事故不祥事防止会議等を定期的に開催し、業務の点検を行う。</li> <li>・長期休業期間中の学校閉庁日の設定。夏季休暇の消化、年次休暇の取得推進を図る。</li> </ul>